

実務技能検定協会からのお知らせ

秘書検定CBT(2級・3級)をご活用ください!

秘書検定CBTは、受験申し込みから受験、採点、合否通知まで、全てがコンピューター上で行われる方式の検定試験です。受験者が個人で申し込みを行い、各地にあるテストセンターに向向いて受験。結果はその場ですぐに分かります。最短で申し込みから3日後に受験することができ、不合格になった級をすぐに再受験することも可能です。ぜひご活用ください。

秘書検定CBTのポイント

- ① 1年間を通じて好きな日時で受験できる(各テストセンターの試験実施日時による)
- ② 合否結果が試験終了後すぐに分かる
- ③ 試験会場となるテストセンターは全国に300会場以上

詳細は秘書検定のウェブサイトおよび株式会社CBT-Solutionsのウェブサイトをご確認ください。

▶▶▶ 秘書検定



▶▶▶ CBT-Solutions



活用事例紹介

就職活動を間近に控える 大学生・専門学校生に特に おすすめします!

前田小百合先生



私は現在、専門学校と短期大学で秘書検定の指導を行っています。CBTが始まったということで、学生に勧める前に私も実際に受験してみました。驚いたのは、テストセンターの数! 自宅や学校などに近い場所を選ぶことができ、安心です。

コンピューターでの受験も、デジタルに慣れている学生なら抵抗なく取り組めるでしょう。少し受験料が高くなってしまうため強制はしませんが、学生には「CBTでチャンスが広がりますよ!」と勧めています。

①次の試験日を待たず再挑戦できる!

一番の利点は、次の試験日まで待たなくてよいことです。例えば1年生の11月と2月に3級・2級、2年生の6月に準1級を目指して指導する場合、1年次に3・2級に合格できなかった学生のフォローが難しいという問題がありました。そこで上位級に挑戦するのを諦めてしまう学生もいますし、特に10代の学生は「周りに遅れをとっている」という状態を不安に思うもの。CBTを利用すればすぐに再挑戦して皆に追いつくことができ、安

心して次の級に取り組めるようです。友達に知られずこっそりと受けられるのもよいところです。

「あと少しのところまで不合格になってしまった」という学生にとっては、改めて勉強し直すことなく受験できるため、合格の可能性も高くなります。

②他の資格試験がない時期を選んで挑戦できる!

専門学校や短期大学では、学科によっては多数の資格試験を受験しなければなりません。試験の実施時期が重なっていることも多く、秘書検定が後回しになってしまうことも。CBTを利用すれば、他の試験がない時期に自分のペースで勉強して挑戦できます。

③社会人も、自分の都合に合わせて受験できる!

CBTは社会人にも大いに活用できます。サービス業種など、検定試験が行われる週末は仕事があるという人も、自分の休みに合わせて受験できるのはありがたいもの。また、試験会場では退出時間まで着席していなければならないませんが、CBTでは解答が済めば時間を問わず自由に終了することができます。自分の都合に合わせて受験ができるのは大きなメリットです。

このようにメリットが大きい一方で、問題を持ち帰れないため、各設問を細かく振り返ることなどはできません。それでも、自分のペースで学習の成果を発揮できるCBTは次に進むための大きな一歩として活用できると思います。